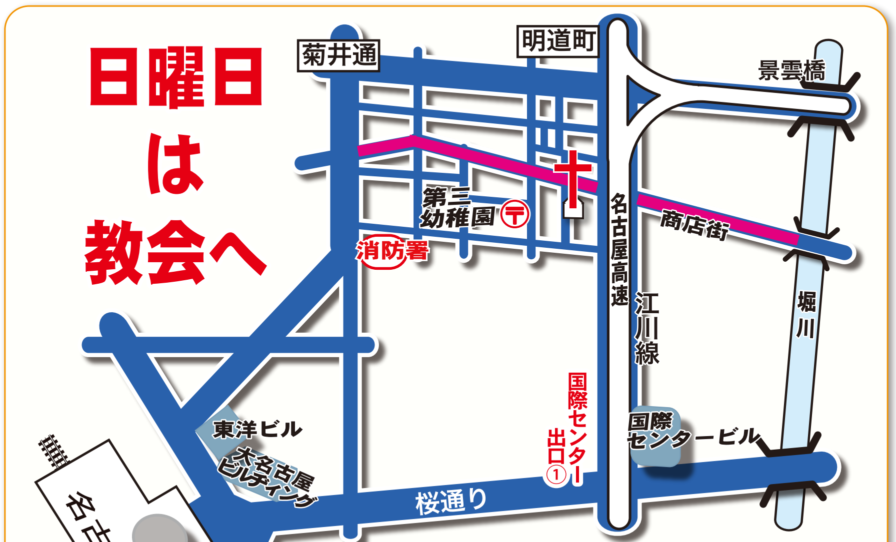
今週のセルグループ(赤字)　4月5日(日)～4月11日(土)

セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど	
リバイバル 北山姉	4/12(日) 午前10:30	北山(教)	3/22 2名	自分は主から目を離すと自分の思いで暴走してしまう者である。
グレイス 鈴木千姉	4/10(金) 午後8:30	鈴木宅	3/27 4名	神の調子に合わせている人は、人に与えようと思っている人なのだと気づかされ感謝だった。
Gospel 鈴木尚姉	4/12(日) 練習後	交わり	3/21 3名	初めてとりなして祈りたいという思いが起こった。
オイコス 磯貝姉	4/12(日) 練習後	コミュニティセンター	3/22 6名	執り成しの祈りをしました。
からし種 磯貝姉	お休み			
ユース 岩下兄	お休み			
Rock 鈴木洋兄	4/14(火) 午後8:30	鈴木宅	3/17 3名	とりなして祈られていたのだと感激したことを思い出した。
シャローム 平岩姉	4/11(土) 午前10:00	平岩宅	3/29 3名	後ろの席にいるのは違う声を聞いているとわかっているけど、決意でききれない。
なつめやし 髙橋智姉	4/19(日) 練習後	髙橋宅	3/29 6名	自己中心だと気づかされた。毎朝祈り、悔い改め、人のために祈ることを始めた。
リジョイス 杉本姉	4/7(火) 午前10:15	赤塚宅	3/17 9名	自分を少しでも高くする時、主の前にへりくだりがないと示される。
ジョイフル 穂苅兄	4/5(日) 礼拝後	交わり	3/17 7名	「今イエス様、なんて言ってる！？」と質問。主に聞いて答えて恵まれました。
アガペ 長塚姉	4/12(日) 練習後	コミュニティセンター	3/29 4名	セルリーダーのためにお祈りください。
サクセス 鈴木勝兄	4/12(日) 練習後	未定	3/29 8名	食事の交わり
リーダーズセル	お休み			4月はお休みです。
セル研修	4月は休講			4月は休講になります。
羊・ビジョン 平岩恵兄・栗永兄	毎日曜日 礼拝後	コメダ	3/29 5名	食事の交わりをして、恵まれました。
worship 長塚寛兄	中止			
中学生 梅田姉	中止			
キッズ2 小山姉	中止			
キッズ1 芳井姉	中止			
Shine 小原姉	4/11(土) 午後7:00	エステル	3/28 3名	主に変えていただき、家事も楽しんですることができるようになりました。
ギデオン 芳井兄	4/11(土) 午後6:30	芳井宅	3/28 4名	引越しをしたが、いつも部屋を綺麗に保っている。それは主が与えられたものだから。
カルバリ 野田兄	4/7(火) 午前9:00	近田宅	3/17 7名	セルリーダーのためにお祈りください。
神の家族 伊岐見真姉	4/12(日) 午後7:30	山田千宅	3/22 名	中止にしました。

聖日礼拝	(日曜)	(第一) 午前 9:00～10:30 (第二) 午前11:00～12:30
キッズセル(子供礼拝)	(日曜)	午前 9:00～10:30
日曜礼拝バイブルスタディ	(日曜)【第一教室】	午前11:00～12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ	(第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00～ 2:30 (夜) 午後 7:00～ 8:30
祈祷会	(木曜)	午後 7:00～ 8:30
特別早天祈祷	(土曜)	午前 6:00～ 7:00

日曜日は教会へ



主の御手がともにある
名古屋リバイバルチャーチ
〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝

礼拝奉仕		聖日礼拝			祈祷会	
			司会	奏楽		司会／奏楽
今週	4/5(日)	Ⅰ	大髙愛姉	鈴木千姉	4/9(木)	穂苅兄／鈴木尚姉
		Ⅱ	大髙愛姉	鈴木千姉		
来週	4/12(日)	Ⅰ	大髙愛姉	鈴木千姉	4/16(木)	磯貝姉／鈴木千姉
		開始時間　午前10時				

※ バイブルスタディはしばらくの間休講になります。

※ 4/12(日)はイースター感謝礼拝です。イースター感謝献金は専用の献金袋でお捧げ下さい。

※ 岩下兄弟姉妹に第三子(男の子)が生まれました。祝福をお祈り下さい。

祈りの課題

- 人々の救いを覚えて
  - 家族知人をキリストへ
  - 教会近隣の人々の救い
  - 東海地方の救いのために
  - 日本の救いのために
  - 世界の救いのために
- ギデオン協会の働きのために
- セルグループの祝福
  - LTG人生変革グループの祝福
- プレヤーハウス獲得のために
- 働きを覚えて
  - バイブルスタディの働き
  - リバイバルクワイヤーの働き
  - リバイバルママズの働き
  - 那古野アウトリーチの働き
  - 祈祷会の祝福
  - 日曜礼拝の祝福
  - 牧師の働き

主の御手　週報　NO.1289

2020年4月5日(日)発行　4月第1週

私たちのビジョン［宣教］(使徒の働き11：21)	主の御手が彼らとともにあったので、大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

- **準備のうた**（礼拝を待ち望む時間です）
  (讃美と言い讃美歌を歌うことです。最近の教会では現代風の新曲が多く歌われています。)
  (立ち上がって賛美する人が多いですが、特に指示がなければ、座ったままでも結構です。)

  開始　９時　　(第一礼拝)
  開始１１時　　(第二礼拝)

- 讃美
- 祈り　　(祈りの姿勢をおとり下さい。)
- 聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- 讃美
- メッセージ
- 祈り
- 神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- 主の祈り　(初めての方はスクリーンをご覧になってどうぞ。)
- 連絡

お願い

(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ［感謝］	すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。(テサロニケ人への手紙 第一５章18節)

「出エジプト26：1 幕屋を十枚の幕で造らなければならない。幕は、撚り糸で織った亜麻布、青、紫、緋色の撚り糸を用い、意匠を凝らして、それにケルビムを織り出さなければならない。」

ビルの壁画

つい最近のことですが、バスに乗り遅れ、駅まで歩いたことがありました。それで疲れてしまうかと思いきや、逆に頭が冴えて元気になってしまいました。名古屋駅に着くと、その気分のまま、何か新しいことがしたくなり、少しだけ遠回りして、いつも通るビルのいつもとちがうドアから出てみました。新しい何かを見つけることを期待して。すると、ドアを出てすぐ右側のビルの壁に、大きな壁画を発見したのです。それは、意識していなければ100％通り過ぎてしまうだろうと思われるほど、自然にその場所に溶け込んでいました。そこは車の出入り口に近く、立ち止まってゆっくり見ることができなかったので、とりあえずその壁画と、隅にあった説明文を写真に撮ってその場を立ち去りました。その壁画はモザイク画でした。

意匠を凝らした作品

その日、落ち着いて写真を見ると、それは大きな1枚の絵になっていました。近くで見た時は、ただの模様にしか見えなかったのですが。それには「海」という標題がついていて、矢橋六郎という著名な洋画家の作品でした。抽象的な絵ですが、よく見ると、水道の蛇口のようなものや、人の姿も描き出されています。不思議な絵です。モザイクの材料は、天然の大理石で、黒っぽいもの、茶色っぽいもの、白っぽいものなどさまざまです。大理石の大きさは、1センチ角から10センチ角のものを使用しているそうですが、その小さな石片を一つ一つ貼付けて行ったのかと思うと、その膨大な作業に気の遠くなる思いがしました。そして、天然石の素朴な色にとても魅力を感じました。どこかで見たことがあるな、と思い出したのは、数年前に行ったイスラエル旅行で、古代ローマの遺跡の建造物に施されたモザイク画でした。やはり1センチ角くらいの大理石を使って、いろいろな模様や絵を描き出していました。

幕屋の幕

出エジプト記の25章で、神様はイスラエルの民に、幕屋を作るように命じています。その目的は、神様がイスラエルの民とともにいてくださることをあらわすためでした。神様は、その作り方をこと細かく指示しています。幕屋には4枚の幕が重ねてかけられましたが、その一番内側の幕には、**「意匠を凝らして、それにケルビムを織り出さなければならない。」**とあります。**「意匠を凝らして」**というのは、ものを作る中で、意識してデザインに工夫を施すことです。このケルビムの模様は、撚り糸で織った亜麻布、青色、紫色、緋色（赤色）の撚り糸を用いて、織り出されたものでした。どこが意匠を凝らしているかと言えば、幕の表からも裏からも、同じ模様を見ることができる織り方だったということです。刺繍よりももっと高度な技術を必要とするものだそうです。神様は人の心に知恵を与えて、こんなにも美しく凝った模様を、コツコツと作り上げる心を与えてくださったのです。

神様が造られたモザイク画

神様が人を造られたとき、**「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。（創世記1：26）」**と言われました。神様は、姿はなく、心だけで存在しておられるお方です。ですから、**「われわれの似姿に造ろう」**というのは、人の心が、神様の心に似せて造られたということです。神様は、人がコツコツと根気よく作業を積み重ねて、美しい芸術作品を造り上げる心を与えてくださいました。そして、人が意匠を凝らして造り上げた芸術作品を通して、人間を造られた神様のすばらしさを、私たちは知ることができるのです。創造主であられる偉大な神様の御業をほめたたえます。

ところで、そんなことを思いながらモザイク画を見ていると、小さな大理石の一片一片が、神様の起こされた一つ一つのできごとのように思えてきました。聖書に書かれているできごと、また聖書には書かれていないほかの国々の歴史、そして、今深刻な問題となっている、新型コロナウイルスの世界的大流行に至るまで、みんな神様の大きなご計画の中の一つのできごとであって、神様はご自分のご計画を成就されるために、根気よく、順序よく一つ一つのできごとを積み重ねておられるのです。歴史は、神様が意匠を凝らして造られるモザイク画のようなものかもしれません。その中に存在する私たち人間は、なんて小さく取るに足りない存在でしょうか。しかし、その小さな人間一人ひとりに、神様は目を注いでくださるのです。**「人とは何ものなのでしょう。あなたが心に留められるとは。人の子とはいったい何ものなのでしょう。あなたが顧みてくださるとは。（詩篇8：4）」**